

千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果

1 評価機関

名 称	株式会社 学研R&C
所 在 地	東京都大田区仲池上1-17-15学研第2ビル
評価実施期間	平成19年10月1日～平成20年1月31日

2 評価対象事業者

名 称	浦安市立入船保育園	種別： 保育所
代表者氏名	吉野 秀実	定員（利用者人数）： 170 名
所 在 地	千葉県浦安市入船6-9-1	TEL 047-353-6992

3 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

◆ 特に評価の高い点

学齢リーダー会議、年齢別の会議があり、重要な内容については、一部の職員だけで決定せず、全員で話し合うしくみがあります。職員会議においては、だれでも発言しやすい雰囲気づくりに配慮しています。園長と副園長は、職種・職位にかかわらず意見交換ができる職場づくりを旨とし、指導に取り組んでいます。

火災・事故・防犯・感染症対策などに対するマニュアルを整備し、子どもの安全確保のための体制があります。避難訓練も毎月実施しています。

園児の体調の変化などは、園児出席表、健康観察表、看護業務日誌など複数に記録して万全を期しています。園児出席表の健康観察欄は、記録に記号を追加し一目でわかるように改善しています。これらの記録は、各日付ごと、月間ごとなどに集計し、クラス一覧、全園一覧などにまとめ、全体のチェックが容易にできるよう工夫が見られます。

食育係が中心になって、楽しく食べることや卒園までに身につけたいマナーなどをテーマに話し合っています。子どもたちが育てた野菜を食材に用いたり、クッキング保育や異年齢での会食など、さまざまな食事を楽しむ工夫をしています。

室内環境については、環境係が中心となり、園全体で保育室のレイアウトや生動線などについて討議・検討をしています。各クラスとも食事のための空間が確保されており、家庭に近いようにたたみスペースを作っています。園庭は広く、箱ブランコ・すべり台・ジャングルジムなどの固定遊具があり、家庭菜園用の広い畑もあります。

自分のことは自分でできちんとできるようにするという姿勢で、子ども一人ひとりのペースで基本的な生活習慣を身につけるようにしています。

時間外保育の充実を心がけており、時間外サポーターと担任との会議をもったり、時間外サポーターへの研修も行っています。

障害児保育は、担任だけでなく園全体で取り組むという姿勢で行っています。職員会議などで子どもの様子や対応、関係機関との連携について共有しています。

統合保育係が中心となって、外部講師による研修も行っています。必要に応じて、まなびサポート、こども発達センターなどに相談したり、助言を求めたりしています。

◆ 特に改善を求められる点

電話相談や園庭開放、行事開放などを行っていますが、職員は地域住民への告知が少ないと感じています。また、出前講座も実施していますが、地域とのかかわりをもっと増やしたいと考えています。

今後は待ちの姿勢ではなく、積極的に行動して園の事業や活動を広報し、地域貢献をさらに進めることを期待します。

マニュアル集があり、そこに保育士、看護師、栄養士などに関する各種マニュアルがファイルされています。いつでも参照できるようになっていますが、まだ十分とはいえません。今後の課題として、欠落している分野のマニュアルの整備、研修や個別指導によって、職員に周知徹底するための方策を講じることを望みます。

また、利用者満足に関する調査の担当者の設置や、把握した結果を分析・検討するにあたって、利用者参画の検討会を設置するように望みます。

4 第三者評価結果に対する事業者のコメント（受審事業者の意見）

課題となるところがはっきりわかり、今後の取り組みについて、大いに参考になりました。

5 事業者の特徴（受審事業者の意見）

新浦安駅に近く、住宅地、商業地域に隣接しており、利用者の数も多い。
子ども達がのびのびと活動できる場や生活を通して人間関係が育つように環境整備を整えている。

千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果

6 分野別特記事項

大項目	分野別特記事項（特に優れている点・特に改善を求められる点）
Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織	<p>理念については玄関に掲示し、入園のしおりや保育計画の中にも記載しています。</p> <p>基本方針や目標を立案する際は理念との整合性に留意して当園として独自に検討を行っています。</p> <p>年度ごとに立案する保育計画についても一貫性をもたせるようにしています。この際に職員は理念や基本方針を振り返り検討を行っています。</p>
Ⅱ 組織の運営管理	<p>学齢リーダー会議、年齢別の会議（以上児会議・未満児会議）はそれぞれに月1回ずつ、各系の会議は月1回以上というように会議の実施形態が決まっています。重要な内容については、一部の職員だけで決定せず、話し合うしくみがあります。</p> <p>また、これらの職員会議においては、トップダウンではなく、発言しやすい雰囲気づくりに配慮しています。園長と副園長は、職種・職位にかかわらず意見交換ができる職場づくりを旨とし、かつ指導に取り組んでいます。</p>
Ⅲ 適切な福祉サービスの実施	<p>懇談会のほか、保護者と面談し、利用者満足を把握することに努めています。園では、食育、環境、子育て支援、ロールプレイングといった部会を設け、各担当者を軸に、毎月1回検討会をもっていきます。各部会では、懇談会や面談で得られた情報などを生かしつつ討議し、検討しています。</p> <p>なお、利用者満足に関する調査の担当者の設置や、把握した結果を分析・検討するにあたって、利用者参画の検討会を設置するように望みます。併せて、サービスの実施方法の見直しの時期やその方法、利用者などからの意見・提案が反映されるしくみを整備するとよいでしょう。</p> <p>苦情解決にあたっては、その内容の程度によって、それぞれ担任、副園長、園長が迅速に対応しています。園全体にかかわるような苦情は、職員会議で検討し、検討内容や対応策を利用者にフィードバックしています。</p> <p>「事業者自己評価」の結果から、サポーターの保育技術向上の課題が明らかになったので、リーダーが研修を行うなどの取り組みも行っていきます。</p>

大項目	分野別特記事項（特に優れている点・特に改善を求められる点）
Ⅳ サービスの内容	<p>職員自身の計画のもとに、栄養士と食育係が中心になって、楽しく食べることや卒園までに身につけたいマナーなどをテーマに話し合い、クッキング保育や異年齢での会食、おむすびやさんなど、さまざまな食事を楽しむ工夫をしています。</p> <p>室内環境については、環境係が中心となり、園全体で保育室のレイアウトや生活動線などについて討議・検討をしています。グループ討議を行うなど、園全体で環境づくりに取り組んでいます。</p> <p>看護師を中心に保育士と連携を取り、子ども一人ひとりの健康管理を行っています。子どもの状況を職員間で把握できる手段が複数あり、小さな怪我でも保護者に伝えるようにしています。</p> <p>園庭は広く、固定遊具や実のなる木、広い畑があります。1年をとおして野菜の栽培をしたり、ルールのある遊びやごっこあそびを楽しんでいます。</p> <p>時間外保育の充実を心がけており、時間外サポーターと担任との会議をもったり、時間外サポーターへの研修も行っていきます。</p>

福祉サービス第三者評価共通項目（施設系）の評価結果					評価結果	
大項目	中項目	小項目	項目		評価結果	
I 福祉サービスの基本方針と組織	1 理念・基本方針	(1) 理念・基本方針の確立	1	①理念が明文化されている。	a	
			2	②理念に基づく基本方針が明文化されている。	a	
		(2) 理念・基本方針の周知	3	①理念や基本方針が職員に周知・理解されている。	a	
			4	②理念や基本方針が利用者等に周知されている。	a	
	2 計画の策定	(1) 中・長期的なビジョンの明確化	5	①中・長期計画を踏まえた事業計画が作成されている。	a	
			6	①事業計画達成のための重要課題が明確化されている。	b	
		(2) 重要課題の明確化 (3) 計画の適正な策定	7	①施設の事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが合議する仕組みがある。	a	
	3 管理者の責任とリーダーシップ	(1) 管理者のリーダーシップ	8	①質の向上に意欲を持ち、その取り組みに指導力を発揮している。	a	
			9	②経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	a	
II 組織の運営管理	1 経営状況の把握	(1) 経営環境の変化等への対応	10	①事業経営を取り巻く環境が的確に把握されている。	a	
			11	②経営状況を分析して、改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	a	
	3 人材の確保・養成	(1) 人事管理体制の整備	12	①施設の全職員が守るべき倫理を明文化している。	a	
			13	②人事方針を策定し、人事を計画的・組織的に行っている。	a	
			14	③職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	a	
		(2) 職員の就業への配慮	15	①事業所の就業関係の改善課題について、スタッフ（委託業者を含む）などの現場の意見を幹部職員が把握できる仕組みがある。	a	
			16	②福利厚生に積極的に取り組んでいる。	a	
			(3) 職員の質の向上への体制整備	17	①職員の教育・研修に関する基本方針が明示されている。	a
	18	②定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。		a		
	19	③実習生の育成について、積極的な取り組みを行っている。		a		
	4 安全管理	(1) 利用者の安全確保	20	①緊急時（事故、災害、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	a	
			21	②利用者の安全確保のためにリスクを把握し、対策を実行している。	a	
	5 地域との交流と連携	(1) 地域との適切な関係	22	①地域との交流・連携を図っている。	a	
			23	②利用者ニーズに応じて、施設外にある社会資源を活用している。	a	
			24	③事業所が有する機能を地域に還元している。	a	
			25	④関係機関等との連携が適切に行なわれている。	a	
		(2) 地域福祉の向上	26	①地域の福祉ニーズを把握している。	b	
			27	②地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	b	
	III 適切な福祉サービスの実施	1 利用者本位の福祉サービス	(1) 利用者尊重の明示	28	①施設の全職員を対象としたプライバシーの保護に関する研修を行なっている	a
				29	②プライバシーの保護の考え方の徹底を職員の間で図っている。	a
			(2) 利用者満足の上	30	①利用者満足の上を意図した仕組みを整備している。	a
				31	②利用者満足の上に向けた取り組みを行っている	b
			(3) 利用者意見の表明	32	①苦情又は意見を受け付ける仕組みがある	a
33				②寄せられた意見、要望やトラブルに対応するシステムがある。	a	
34				③利用者からの意見等に対して迅速に対応している	a	
35				④サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	a	
2 サービスの質の確保		(1) サービスの質の向上への取り組み	36	②課題発見のための組織的な取り組みをしている。	a	
			37	③常に改善すべき課題に取り組んでいる。	a	
			38	①職員の対応について、マニュアル等を作成している。	b	
		(2) サービスの標準化	39	②日常のサービス改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	b	
			(3) 実施サービスの記録	40	①利用者の日常の体調の変化を把握して、それを記録している。	a
				41	②利用者の状態変化などサービス提供に必要な情報が、口頭や記録を通して職員間に伝達される仕組みがある。	a
3 サービスの開始・継続		(1) サービス提供の適切な開始	42	①施設利用に関する問合せや見学に対応している。	a	
			43	②サービスの開始に当たり、利用者等に説明し、同意を得ている。	a	
4 サービス実施計画の策定	(1) 利用者へのアセスメント	44	①利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	a		
		(2) 個別支援計画の策定	45	①一人一人のニーズを把握して個別の支援計画を策定している。	a	
	46		②個別支援計画の内容が常に適切であるかの評価・見直しを実施している。	b		
	(3) 情報の管理	47	③個人情報保護に関する規定を公表している。	b		

福祉サービス第三者評価項目（保育所）の評価結果					評価結果
大項目	中項目	小項目	項目		
IV 保育所	1 子どもの発達援助	(1) 発達援助の基本	1	保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	a
			2	指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	a
		(2) 健康管理・食事	3	登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	a
			4	健康診断（内科、歯科）の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a
			5	感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	a
			6	食事を楽しむことができる工夫をしている。	a
			7	子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	a
			8	子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	a
			9	アレルギー疾患を持つ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	a
		(3) 保育環境	10	子どもが心地よく過ごすことができる環境を整備している。	a
			11	生活の場に相応しい環境とする取組みを行っている。	a
		(4) 保育内容	12	子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	a
			13	基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	a
			14	子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	a
			15	身近な自然や社会と関わられるような取組みがなされている。	a
			16	遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	a
			17	子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	a
			18	性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	a
			19	乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。	a
	20		長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。	a	
	21		障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。	a	
	2 子育て支援	(1) 入所児童の保護者の育児支援	22	一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	a
			23	家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	a
			24	こどもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	a
			25	虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。	a
			26	虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	a
		(2) 一時保育	27	一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	-

項目別評価結果・評価コメント

事業者名 浦安市立入船保育園

評価基準		評点	コメント
I 福祉サービスの基本方針と組織	項目 番号		
I-1 理念・基本方針			
I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。			
I-1-(1)-① 理念が明文化されている。	1	a	浦安市の子育て支援総合計画により、理念が明文化されています。 理念については玄関の目立つ場所に掲示し、「入園のしおり」や保育計画の中にも記載しています。
I-1-(1)-② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	2	a	基本方針や目標を立案する際は理念との整合性に留意しながら当園として独自に検討を行いました。 浦安市の公立保育園7園合同で保育計画についての研究を行っていますが、この計画とも一貫性をもたせるようにしています。
I-1-(2) 理念、基本方針が周知されている。			
I-1-(2)-① 理念や基本方針が職員に周知されている。	3	a	理念や基本方針は職員会議で確認を行っています。 年度ごとに立案する保育計画については、地域性も考慮しながら検討します。この際に職員は理念や基本方針を振り返り検討を加えています。
I-1-(2)-② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	4	a	理念や基本方針については玄関に掲示し、「入園のしおり」にも掲載しています。保護者にも周知を図っています。 なお、定期的に園だよりなどに掲載し説明する機会を増やすと保護者への理解が深まるでしょう。
I-2 計画の策定			
I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。			
I-2-(1)-① 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	5	a	中・長期計画については、子育て支援総合計画として浦安市が策定しています。この中には、保育園の整備、一時保育の拡充、乳幼児健康支援などがあり、5年以内の目標が定められています。
I-2-(2) 重要課題の明確化			
I-2-(2)-① 事業計画達成のための重要課題が明確化されている。	6	b	保育計画を立案するために、保育士全員で課題を出し合い討議を行っています。保育内容に加えて事業全般の課題の抽出を行うとなおよいでしょう。
I-2-(3) 計画が適切に策定されている。			
I-3-(1)-① 施設の事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが合議する仕組みがある。	7	a	学齢リーダー会議、年齢別の会議（以上児会議・未満児会議）はそれぞれに月1回ずつ、各係の会議は月1回以上というように、会議の実施形態が決まっています。重要な内容については、一部の職員だけで決定せず、全員で話し合うしくみがあります。

評価基準		評点	コメント
I-3 管理者の責任とリーダーシップ			
I-3-(1) 管理者のリーダーシップが発揮されている。			
I-3-(1)-① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	8	a	職員会議においては、上層部から下部へ指示するのではなく、だれでも発言しやすい雰囲気づくりに配慮しています。園長と副園長は、職種・職位にかかわらず意見交換ができる職場づくりを旨とし、かつ指導に取り組んでいます。
I-3-(1)-② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	9	a	職員の研修については積極的に支援を行っています。この予算についても職員の要望を取り入れ、受講しやすい体制を作っています。このことは、業務の効率化や改善にもつながると考え、積極的に進めています。
II 組織の運営管理			
II-1 経営状況の把握			
II-1-(1) 経営環境の変化等への対応			
II-1-(1)-① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	10	a	市が主催する公立保育園7園合同の園長会議が毎月1回あり、社会福祉事業全体の動向などについての情報収集や話し合いが行われています。このほか、市内の全保育園合同の園長会議が年2回、幼稚園を含めた全園長会議が年2回あります。ここでも経営環境などの情報交換が行われています。
II-1-(1)-② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	11	a	合同園長会議で得た情報を分析して、現場として必要な課題を抽出し、職員会議で検討・共有化をしています。防犯の問題、各園における園児数の状況やアレルギーのある子どもの数など、園ごとの実態を情報交換し、自園と比較しつつ事業における課題を把握するよう努めています。
II-2 人材の確保・養成			
II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。			
II-3-(1)-①施設の全職員が守るべき倫理を明文化している	12	a	職員は、公務員としての規程や保育士の倫理綱領を理解し遵守しています。臨時職員などに対しても服務規程などを説明し、理解するよう取り組んでいます。
II-2-(1)-②人事方針を策定し、これに基づく職員採用、人材育成を計画的・組織的にやっている。	13	a	市の人事方針に基づいて行われています。職員は年度ごとに個人目標を作成し、定期的に振り返りを行います。毎年秋には進捗状況の確認、年度末には結果を記入して提出します。必要に応じて個人面談を行い、園長や副園長がコメントを入れて全員に返却します。
II-2-(1)-③職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	14	a	職員の評価については、市の職員として、定められた基準に沿って行われています。 また、園独自の自己評価表もあり、園長がチェックして各自に戻しています。 非常勤職員（ヘルパー）の採用と評価については園長が行うことになっています。

評価基準		評点	コメント
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。			
Ⅱ-2-(2)-①事業所の改善課題について、スタッフ(委託業者を含む)などの現場の意見を幹部職員が把握できる仕組みがある。	15	a	職員の有給休暇の取得については積極的に取るように奨励しています。時間外勤務については市の職員として軽減しなければなりません、実際の業務との兼ね合いを考え対応しています。こうした実情については幹部職員が把握しています。
Ⅱ-2-(2)-②福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	16	a	市の職員としての福利厚生制度があります。 また、園独自の取組として年度始めのレクリエーションや「よろしくね会」、年度末の「おつかれさま会」など、職員のリフレッシュを図っています。
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上への体制整備			
Ⅱ-2-(3)-① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	17	a	年間の研修計画があり、職員の研修に関する体制は整っています。 外部研修は、園全体で毎年20回以上の受講履歴があり、知識や技術の習得支援が行われています。
Ⅱ-2-(3)-② 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	18	a	研修受講後は、報告書にまとめることが義務付けられていて、園長に提出をしています。また、職員会議でも報告しています。こうした過程を経て研修の評価や計画の見直しを行っています。
Ⅱ-2-(3)-③ 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	19	a	実習生を定期的に受け入れています。その指導体制は整っています。受入れの際用いる資料があり、そこには園の概要、注意事項や持参物などをまとめて記載しています。 なお、今後、実習生を受け入れの際、守秘義務に関する誓約書の提出を要請してください。
Ⅱ-3 安全管理			
Ⅱ-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。			
Ⅱ-3-(1)-① 緊急時(事故、災害、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	20	a	火災・事故・防犯・感染症対策などに対するマニュアルを整備しています。マニュアルに沿った子どもの安全確保のための体制があります。避難訓練を毎月実施し、そのつど、緊急時の対応を再確認しています。
Ⅱ-3-(1)-② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	21	a	事故防止チェックリストを年齢別に作成し、それを用いて確認を行っています。 また、棚やロッカーには転倒防止器具取り付け、転倒防止を徹底しています。

評価基準		評点	コメント
II-4 地域との交流と連携			
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。			
II-4-(1)-①地域との交流・連携を図っている。	22	a	門の外の掲示板に掲示して、近隣住民に育児情報を提供しています。また、園庭開放を月2回、お楽しみ会(クリスマス)・やきいも会・運動会の見学など行事の開放も、行っています。 毎年10月には、自治会といっしょに歩道の花壇に種まきをしたり、花を植えたりしています。
II-4-(1)-②利用者ニーズに応じて、施設外にある社会資源を活用することを支援している。	23	a	図書館の利用や警察署・郵便局などの見学を毎年行っています。図書館の職員は読み聞かせを行うために来園することもあります。 公園などへの散歩については、天気さえよければほぼ毎日行っています。
II-4-(1)-③事業所が有する機能を地域に還元している。	24	a	親子でいっしょに楽しく過ごすための取組や、要請があれば公民館で出前講座を実施しています。今までに栄養士によるクッキング講座や怪我についての講座を実施してきました。 また、常時、電話による子育て相談にも応じています。
II-4-(1)-④関係機関との連携を図っている。	25	a	教育研究センター(教育委員会)による職員研修の受講やセンターとの連携は3年前から行っています。 また、こども発達センターには、障害児保育について保護者の了解を得て巡回相談を依頼しています。また、まなびサポートも派遣申請書を出すことによって巡回相談をしてくれるので、適宜利用しています。
II-4-(2) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。			
II-4-(2)-①地域の福祉ニーズを把握している。	26	b	園庭開放、保育体験による親子での給食参加などの機会にアンケートを行っています。アンケートには地域の子育てニーズがいろいろと詰まっています。これを分析することで具体的なニーズを把握でき、対応策が検討できますのでぜひ研究してください。
II-4-(2)-②地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	27	b	電話相談や園庭開放、行事開放などを行っていますが、職員は告知が少ないと感じています。 また、出前講座も実施していますが、地域とのかかわりをもっと増やしたいと考えています。 今後は待ちの姿勢ではなく、積極的に行動して園の事業や活動を広報し、地域貢献をさらに進めることを期待します。

項目別評価結果・評価コメント

事業者名 浦安市立入船保育園

評価基準	項目番号	評点	コメント
Ⅲ 適切な福祉サービスの実施			
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス			
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。			
Ⅲ-1-(1)-①施設の全職員を対象としたプライバシーの保護に関する研修を行なっている	28	a	平成18年度に、浦安市の職員を講師に招き、全職員を対象に個人情報保護に関する研修を実施しています。しかし、その後は実施していませんから、今後早い時期に、プライバシーの保護に重点を置いた研修を行うことを勧めます。
Ⅲ-1-(1)-② プライバシーの保護の考え方の徹底を職員の間で図っている。	29	a	個人情報保護や保育に関する各種のマニュアルを綴じたファイルを全職員が共有しています。朝・夕のサポーター用も備えてあり、必要に応じて職員はこれを参考にしながら行動しています。重要書類はロッカーに入れ施錠しています。また、書類を事務所以外に持ち出すことは禁止しています。 できれば、マニュアルのファイルは、職員がおのおの持っている、より充実した保育サービスが提供できるでしょう。
Ⅲ-1-(2) 利用者満足の向上に努めている。			
Ⅲ-1-(2)-① 利用者満足の向上を意図した仕組みを整備している。	30	a	年2回の懇談会のほか、随時意図して保護者と面談し、利用者満足を把握することに努めています。園では、食育、環境、子育て支援、ロールプレイングといった部会を設け、各担当者を軸に、毎月1回検討会をもっています。各部会では、懇談会や面談で得られた情報などを生かす1つ1つ討議し、その結果は職員会議にもかけて全員で検討しています。
Ⅲ-1-(2)-② 利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	31	b	保育参観、保育参加でアンケートや個別面談を実施したり、懇談会を開いたりして把握した利用者満足に関する情報は、職員会議で分析・検討し、その結果に基づいて具体的な改善案を話し合っています。利用者からの要望は、できるだけ実現できるよう努めていますが、無理なものは代替案を検討し、その実現を図っています。 なお、利用者満足に関する調査の担当者の設置や、把握した結果を分析・検討するにあたって、利用者参画の検討会を設置するように望みます。

評価基準		評点	コメント
Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。			
Ⅲ-1-(3)-① 苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	32	a	<p>苦情解決制度について説明したポスターが玄関ホールに掲示してあります。また、意見・要望は、各クラスの連絡ノートに書いてもらっても、クラス担任や園長に直接申し出てもらってもよいこと、いつでも受け付けていることなどを、個人面談の折に伝えています。さらに、「市長への手紙」の電子メールによっても意見・要望を受け付けていることを説明しています。</p> <p>できれば、相談や意見を述べやすい相談室などの確保が望まれます。</p>
Ⅲ-1-(3)-② 寄せられた意見、要望やトラブルに対応するシステムがある。	33	a	<p>苦情解決制度についてのポスターには、苦情解決責任者、苦情受付担当者、第三者委員が明示されています。市からの文書(福祉サービスについての苦情解決制度について)も配布しています。苦情解決にあたっては、その内容の程度によって、それぞれ担任、副園長、園長が迅速に対応しています。園全体にかかわるような苦情は、職員会議で検討し、検討内容や対応策を利用者にフィードバックしています。また、苦情を申し出た利用者に配慮した上で、苦情内容、解決結果などを園長名で公表しています。</p>
Ⅲ-1-(3)-③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	34	a	<p>利用者から意見・提案を受けた際は、「苦情(意見・要望)受付、経過記録票」に記録しています。その対応には、状況に応じて担任があたりますが、場合によって副園長や園長が加わって処理にあたっています。また、苦情内容は職員会議にもかけられ、全職員が改善策の検討に取り組んでいます。</p>
Ⅲ-2 サービスの質の確保			
Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた組織的な取り組みが組織的に行われている。			
Ⅲ-2-(1)-① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	35	a	<p>毎年、市で実施する「事業者自己評価」を受けています。市からフィードバックされた評価結果は、職員会議で報告していますが、分析までは行っていません。</p> <p>なお、今回初めて第三者評価を受審しました。</p> <p>今後、評価に関する担当者の設置、評価結果を分析・検討する場を設け、保育サービスの向上に生かすよう望みます。</p>
Ⅲ-2-(1)-② 課題発見のための組織的な取り組みをしている。	36	a	<p>環境係、食育係、子育て支援係などの担当者会議や学年リーダー会議などで課題発見のための話し合いをしています。地域とのかかわりが薄いと感じていて、子育て支援係が具体策を検討中です。また、「事業者自己評価」結果から、サポーターの保育技術向上も課題の一つであることがわかりました。</p> <p>なお今後、こうした課題は文書化しておくことを望みます。</p>
Ⅲ-2-(1)-③ 常に改善すべき課題に取り組んでいる。	37	a	<p>評価の結果からわかった改善すべき課題について、その改善策や改善計画を職員会議で検討しています。また、実施状況を確認して、必要があれば職員会議で話し合い、計画の修正をしています。学年リーダー会議では、「事業者自己評価」の結果から、サポーターの保育技術向上の課題が明らかになったので、リーダーが研修を行うなどの取組も行っています。</p>

評価基準		評点	コメント
Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。			
Ⅲ-2-(2)-① 職員の対応について、マニュアル等を作成している。	38	b	<p>マニュアル集があり、そこに保育士、看護師、栄養士などに関する各種マニュアルがファイルされています。いつでも参照できるようになっていますが、まだ十分とはいえません。</p> <p>なお、今後の課題として、欠落している分野のマニュアルの整備、研修や個別指導によって、職員に周知徹底するための方策を講じることを望みます。</p>
Ⅲ-2-(2)-② 日常のサービス改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	39	b	<p>必要に応じて、職員会議の場でマニュアルの見直し、変更を行っています。また、見直しの記録は、職員会議録に残してあります。</p> <p>なお今後、サービスの実施方法の見直しに関する時期やその方法、利用者などからの意見・提案が反映されるしくみを整備するよう望みます。</p>
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。			
Ⅲ-2-(3)-① 利用者の日常の体調の変化を把握して、それを記録している。	40	a	<p>園児一人ひとりの体調の変化などは、園児出席表、健康観察表、看護業務日誌などに記録しています。園児出席表の健康観察欄は、記録に記号を追加し一目でわかるように改善しています。さらに、これらの記録は、各日付ごと、月間ごとなどに集計し、クラス一覧、全園一覧などにまとめていて、全体のチェックが容易にできるよう工夫してあります。</p>
Ⅲ-2-(3)-② 利用者の状態変化などサービス提供に必要な情報が、口頭や記録を通して職員間に伝達される仕組みがある。	41	a	<p>子どもの体調変化などは、随時、職員会議、朝・タサポーター打ち合わせなどで伝えていきます。重要事項は「速報カード」(メモ)に記入し、見落としのないようタイムレコーダーに貼って、職員に確実に伝わるようにしています。また、急を要するものは園児の午睡時に職員を招集し伝えていきます。</p>

評価基準		評点	コメント
Ⅲ-3 サービスの開始・継続			
Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。			
Ⅲ-3-(1)-① 施設利用に関する問合せや見学に対応している。	42	a	<p>見学希望者は随時受け入れ、「入園のしおり」を使って案内や説明を行っています。小学生・中学生の職場体験にも対応しています。また、保護者が作成した園を紹介するホームページも公開しています。</p> <p>なお、園をわかりやすく紹介した資料を作成して、公共施設など多くの人が手にすることができる場所に置くことを勧めます。</p>
Ⅲ-3-(1)-② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	43	a	<p>保育内容や料金など、重要事項の説明は市の担当課が行っています。入園の際、利用者には「入園のしおり」「浦安市認可保育園の概要」「浦安市立入船保育園の概要」などを渡し、それを使って詳しく説明しています。</p>
Ⅲ-4 サービス実施計画の策定			
Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。			
Ⅲ-4-(1)-① 利用者の課題を個別のサービス場ごとに明示している。	44	a	<p>園児一人ひとりのニーズや課題は、「発達記録」の特記事項の欄に、年4期に分けて期ごとに記入し、課題は次年度へ引き継いでいます。また、「月間指導計画」の中の「援助・配慮」の欄にも具体的に細かく記入しています。</p>
Ⅲ-4-(2) 個別支援計画の策定			
Ⅲ-4-(2)-① 一人一人のニーズを把握して個別の支援計画を策定している。	45	a	<p>2歳児までは個別に、3歳児以上はクラスごとに月案を作成しています。策定の責任者はクラス担任ですが、2クラスの場合は合同です。でき上がった案はまず主任がチェックし、さらに副園長、園長がチェックしてからクラスに戻します。クラスを横断した合議はやっていませんが、だれでも各クラスの指導計画を見ることは可能です。計画通りに保育が行われているかどうかは、月案の「評価・反省」項目の記録で確認できます。この記録は具体的に書いて次月に反映させています。</p>
Ⅲ-4-(2)-② 個別支援計画の内容が常に適切であるかの評価・見直しを実施している。	46	b	<p>次月の月案を立てるときは、前月案の「評価・反省」の内容を反映させることはもちろん、保護者との話し合いによって得た園児の情報も生かしています。また、クラス担任の段階で、子どもごとの基本生活習慣の違いなどをつき合わせ、月案に盛り込んでいます。</p> <p>なお今後、指導計画の見直しについて、検討会議の参加職員、利用者の意向を把握するための手順、計画を緊急に変更する場合のしくみなどを、園として定めておくことを勧めます。</p>
Ⅲ-4-(3) 情報の管理			
Ⅲ-4-(3)-① 個人情報保護に関する規程を公表している。	47	b	<p>個人情報保護に関して、園内での掲示はありません。「5月の園だより」には明示しており、保護者への周知を図っています。利用者の個人情報としては「入船保育園保護者会、会員名簿&連絡網」などがあり、その取り扱いについては保護者の会の了解を取っています。</p> <p>なお、個人情報保護に関する規程の、園内での掲示を早急に進めるよう希望します。</p>

項目別評価結果・評価コメント

事業者名 浦安市立入船保育園

評価基準	項目番号	評点	コメント
IV 保育所			
IV-1 子どもの発達援助			
IV-1-(1) 発達援助の基本			
IV-1-(1)-① 保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	1	a	浦安市の公立園統一の保育計画があり、2年前より保育計画プロジェクトを立ち上げ、園の地域性をも考慮した、入船保育園独自の保育計画を作成中です。「環境」「表現」などテーマを決めて、プロジェクトや職員会議で建設的な話し合いが行われています。保育目標のサブタイトルを話し合ったり、学年ごとの目標を検討するなど、職員が主体的に取り組んでいます。
IV-1-(1)-② 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	2	a	月間指導計画は様式が変更になったときに外部講師に来園してもらい、研修を受けました。指導計画は毎月、担任が評価・反省のもとに次月の計画を作成し、主任・副園長・園長から細かい助言・指導をしています。指導計画は、期ごとに評価・反省を行っています。
IV-1-(2) 健康管理・食事			
IV-1-(2)-① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	3	a	健康管理に関するマニュアルがあり、看護師を中心に保育士と連携を取り、子ども一人ひとりの健康管理を行っています。複数の手段を用いて子どもの状況を職員間で把握できるよう努めています。 夕方に怪我が多くなる傾向があるので、子どもの疲労に配慮し、小さな怪我であっても文書や口頭で伝えるよう努めています。
IV-1-(2)-② 健康診断（内科、歯科）の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	4	a	健康診断は年2回（6か月未満は2週間ごと）行っています。事前に保護者から質問を受け、医師からの回答を看護師自身が文書で伝えています。健康診断の結果は基本的に文書で伝え、必要に応じて直接保護者に伝えています。嘱託医との連携が取りやすく、健康上気になる子どもについて相談し、助言を得ています。
IV-1-(2)-③ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	5	a	浦安市の感染症に関するマニュアルのほかに、園独自の衛生面のマニュアルが作成されており、看護師を中心に感染症防止に取り組んでいます。 感染症に関する最新情報は、看護師が独自のわかりやすいマニュアルを作成して職員に伝えたり掲示したりしており、感染症発生時は保護者にも速やかに伝えています。 0歳児室の前室には職員と保護者のみが入り、兄弟も入室させないなど、特に衛生面でも配慮をしています。
IV-1-(2)-④ 食事を楽しむことができる工夫をしている。	6	a	食育係が中心になって、楽しく食べることや卒園までに身につけたいマナーなどをテーマに話合っています。また、職員自身の計画のもとにさまざまな食事を楽しむ工夫をしています。子どもたちが畑で育てた野菜を収穫し料理の食材に用いたり、クッキング保育をしたりしています。ホールでの異年齢との会食や、調理員がおむすびやさんになって子どもの目の前で握ってあげるなどの取組を行っています。 給食室は窓が大きく子どもが調理の様子を見ることが出来ます。

評価基準		評点	コメント
IV-1-1-(2)-⑤ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。		7 a	<p>喫食状況は、随時栄養士が各保育室の子どもの様子を観察しています。食育担当と栄養士の話し合いを毎月行ったり、給食員で反省会をもち、いろいろや食べやすさの工夫をしています。また、献立表に関する食生活アンケートを実施しました。</p> <p>給食の食材に興味をもってもらうため、0歳児から食材を見せたり、給食材料の栄養素のはたらきを知ってもらうために、給食室の窓や保育室内に解説用の手づくりボードを掲示したりしています。</p>
IV-1-1-(2)-⑥ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。		8 a	<p>レシピは自由に持ち帰ることができ、保護者からの要望があれば個別に配布をしています。試食会は年1回行われています。食生活に関するアンケート結果は、給食だよりで伝え、保護者に食生活について関心をもってもらうようにしています。</p>
IV-1-1-(2)-⑦ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。		9 a	<p>除去食・代替食の提供にあたっては、医師の指示のもとに対応しています。栄養士・担任・保護者の三者で面接を行い、毎月個別に対応をしています。給食の提供にあたっては、誤食のないようチェックを重ねています。</p>
IV-1-(3) 保育環境			
IV-1-1-(3)-① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。		10 a	<p>保育室・トイレの清掃は毎日行われ、園の屋内・外ともに清潔に保たれています。清掃は、毎日「ていねい掃除」の場所を決めてこまめに行われ、特に土曜日は「ていねい掃除の日」となっています。</p> <p>既存の設備のなかで、職員は工夫をしながらできる限り整理・整頓に心がけています。</p> <p>園内の施設整備や遊具などは毎月定期的に点検をしています。また園内の事故を想定した「ヒヤリハットマップ」を作成し、園全体で事故防止に取り組んでいます。</p>
IV-1-1-(3)-② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行っている。		11 a	<p>室内環境については、環境係が中心となり、園全体で保育室のレイアウトや生活動線などについて討議・検討をしています。各クラスとも食事のための空間が確保されており、家庭に近いようにたたみスペースを作っています。</p> <p>園庭は広く、箱ブランコ・すべり台・ジャングルジムなどの固定遊具があり、家庭菜園用の広い畑もあります。</p>

評価基準		評点	コメント
IV-1-(4) 保育内容			
IV-1-(4)-① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	12	a	<p>保育士は明るく、ほがらかで、職員みんながどの子どもにも声をかける、という姿勢で保育を進めています。調査時も、子どもの話をじっくりと聞いたり、子どものペースを大事にしている場面をたびたび見かけました。</p> <p>子どもへの対応や言葉かけについては、リーダー会議、3歳未満児会議、3歳以上児会議、職員会議などで振り返りをしています。</p>
IV-1-(4)-② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	13	a	<p>自分のことは自分できちんとできるようにするという姿勢で、子ども一人ひとりのペースで基本的な生活習慣を身につけるようにしています。保育士は自分でやろうとする気持ちを大切にしており、身の回りのことが自分でできるように、さまざまな配慮をしています。トイレット・トレーニングは家庭と連携を図りながら、子どものリズムに合わせて進めています。</p> <p>睡眠は安心して眠れる空間づくりに心がけています。</p>
IV-1-(4)-③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	14	a	<p>環境係が中心となり、室内環境について、各クラスごとにアンケートを取り、グループディスカッションを行うなど、園全体で環境づくりに取り組んでいます。各保育室は、コーナー分けがしてあり、遊具の使い方については毎年見直しをしています。手づくり遊具や子どもの遊びを豊かにする小道具や素材も多く用意され、ごっこあそびを盛んに行っています。</p>
IV-1-(4)-④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている。	15	a	<p>園庭には、アンズ・ビワなど実のなる木があり、畑では1年を通してさまざまな野菜を栽培しています。園内ではカメ、ザリガニ、カブトムシなどを育てたり、交通公園で小動物に触れる機会をもっています。</p> <p>天気がよければできる限り散歩に行き、どんぐりや松ぼっくりなどの自然物を使ってさまざまな遊びを楽しんでいます。</p> <p>また、警察署や郵便局の見学にも行っています。</p>
IV-1-(4)-⑤ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	16	a	<p>異年齢で、園庭で遊んだり、散歩に行ったりしています。やきいも大会では5歳児がおいもやさんになって年少児を招待するなど、楽しい活動につながっています。</p> <p>また、給食やおやつをいっしょに食べたり、年長児が午睡時に年少児の手伝いをしたりしています。</p>
IV-1-(4)-⑥ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てよう配慮している。	17	a	<p>子どもが自分の気持ちや考えを表すことができるよう、一人ひとりの気持ちを受け止める努力を保育士はしています。</p> <p>異年齢児とともに、いろいろな行事に参加したり、いっしょに遊んだりするなど、異年齢交流を深める機会を多くもつようにしています。</p> <p>職員は生活習慣や文化の違いについて、理解をし、個別に配慮をしています。</p>
IV-1-(4)-⑦ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	18	a	<p>出席簿や子どもの遊びなどで、男の子・女の子の区別はしていません。男の子も女の子も、ごみ当番はするし、リリアンも楽しんでいます。</p>
IV-1-(4)-⑧ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	19	a	<p>乳児保育はなるべく家庭的な雰囲気の中でゆったりと安心して過ごせるよう配慮しています。0歳児保育室は、食事・遊び・午睡のスペースが分けられています。遊具は0歳児にふさわしいおもちゃを保育士の工夫で用意しています。</p> <p>食事のときなどは看護師も応援に入り、なるべく1対1で食べることができるよう配慮しています。</p> <p>離乳食は保護者と連携を図って無理なく進めており、栄養士と保育士は毎週打ち合わせを行っています。</p>

評価基準		評点	コメント
IV-1-(4)-⑨ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	20	a	延長保育はゆったりと好きなあそびを楽しめるよう配慮しています。時間外保育の充実を心がけており、時間外サポーターと担任との会議を月に1回行っています。また、時間外サポーターへの研修も行っています。 子どもの状況についての引き継ぎはクラスごとの「引継ぎノート」があり、確認をしながら行っています。
IV-1-(4)-⑩ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	21	a	障害児保育は、担任だけでなく園全体で取り組むという姿勢で行っています。職員会議などで子どもの様子や対応、関係機関との連携について共有しています。 統合保育係が中心となって研修を企画し、外部講師による研修も行っています。必要に応じて、まなびサポート、こども発達センターなどに相談したり、助言を求めたりしています。
IV-2 子育て支援			
IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援			
IV-2-(1)-① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	22	a	日常的な情報交換は、「連絡ノート」と送迎時の会話により行っています。保護者の目に留まる場所に、その日の早番と遅番の保育士の名前を明記しています。 個人面談は年1回ですが、必要に応じて随時行っています。
IV-2-(1)-② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	23	a	家庭の状況や保護者との情報交換の内容は、必要に応じて発達記録に記録しています。
IV-2-(1)-③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	24	a	クラス懇談会は年2回行っています。懇談会にはわかりやすい資料を用意し、その年齢の特徴や年間目標を伝えたり、育児についての討論を行ったりしています。 保育参観・保育参加は期間を設けて行っています。 保育参観は子どもの成長そのままを見てもらう場とし、保育参加は子どもといっしょに遊んだり、保育士の声かけも見てもらう場としています。保育参加では保護者に手品などを披露してもらっています。
IV-2-(1)-④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。	25	a	職員に、児童虐待防止に関するリーフレットを配布し、日頃から子どもの様子に気を配っています。保護者の様子にも気を配り、職員のほうから声をかけるようにしています。 気になることがあった場合には、速やかに園長まで情報が届く体制となっています。
IV-2-(1)-⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	26	a	虐待が疑われる場合の対応について体制が整っており、こども家庭支援センターなどと相談、連携を図る体制があります。
IV-2-(2) 一時保育			
IV-2-(2)-① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	27	0	0